

消化器検診 Newsletter

[日本消化器がん検診学会関東甲信越支部機関紙]

No.124

発行所：日本消化器がん検診学会
関東甲信越支部
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105
こころとからだの元氣プラザ
TEL／070-3207-5971
E-mail:kantou@jsgcs-kanto.jp



日本消化器がん検診学会関東甲信越支部放射線研修委員会委員長就任のご挨拶	2
日本消化器がん検診学会関東甲信越支部放射線研修委員会学術集会会告	3
第84回 日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会	
第84回 日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会を終えて	4
第16回 ザ・ベスト・イメージング・コンテスト結果報告	5
第85回 日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会会告	8
日本消化器がん検診学会関東甲信越支部	
超音波研修委員会	
第28回 初心者のための腹部超音波実技講習会	9
第26回 超音波セミナー	9
第18回 超音波セミナー in 新潟	10
超音波スクリーニング研修講演会2025東京	11
保健衛生研修委員会ご報告	14
第19回 千葉県消化管画像づくり研究会ご案内	16
編集後記	18

日本消化器がん検診学会関東甲信越支部 放射線研修委員会委員長就任のご挨拶

放射線研修委員会 委員長就任の挨拶

野村病院 診療部 画像診断部門長

なか むら あき ひさ
仲 村 明 恒

この度、日本消化器がん検診学会関東甲信越支部 放射線研修委員会委員長を拝命しました野村病院の仲村明恒（平成4年 杏林大学卒）と申します。私は放射線診断専門医として日常診療に携わりながら、サブスペシャリティとして消化管X線診断を専攻しております。今や一介の放射線科医でバリウム検査に携わっている者は全国的にも大変希少となっていましたが、伝統ある二重造影法とその診断学を後世に伝えるべく、日々精進しております。

さて、この度コロナ禍以来5年振りに、日本消化器がん検診学会 関東甲信越支部 第52回放射線研修委員会学術集会を開催する運びとなりました。2014年に対策型検診に内視鏡検査が認められてから、胃X線検査は全体に減少傾向ではありますが、まだまだ検診モダリティとして重要です。そして、今年になって、胃がん検診のための胃X線検査マニュアル2025（改訂第3版）も発刊されました。本書は胃X線撮影手技を大変わかりやすくかつ詳細に解説しており、より実用的な内容となっています。加えて、偶発症、医療被曝管理、そして精度管理のあり方など、従来のガイドラインでは言及されていなかった内容も盛り込まれています。そこで、今回の学術集会では、この胃X線検査マニュアル2025に則したテーマで構成する予定です。また、今や注腸X線検査に替わるモダリティとして注目されている大腸CT検査（CTC）に関するテーマも取り上げたいと思います。関東甲信越支部長 小田丈二先生のもと、大会長 重松綾技師、実行委員長 坂倉智紀技師をはじめとする実行委員が一丸となって、会員の皆様にとって実り多き充実した学術集会を目指して取り組んでまいります。どうか多くの皆様のご参集をお待ち申し上げております。

令和7年10月12日

日本消化器がん検診学会関東甲信越支部 放射線研修委員会学術集会会告

支 部 長：小田 丈二(医療法人社団 こころとからだの元氣プラザ)

研修委員会委員長：仲村 明恒(医療法人財団慈生会 野村病院)

大 会 長：重松 綾(医療法人社団 こころとからだの元氣プラザ)

実 行 委 員 長：坂倉 智紀(杏林大学医学部付属病院)

開 催 場 所：日経ホール

〒100-8066 東京都千代田区大手町1丁目3-7

会 期：2026年3月1日(日) 10:00～16:00

参 加 費：3,000円

プロ グ ラ ム：教育講演、シンポジウム、症例検討会 等

事 務 局：一般社団法人日本消化器がん検診学会関東甲信越支部

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105

こころとからだの元氣プラザ

TEL 070-3207-5971



第84回 日本消化器がん検診学会 関東甲信越支部地方会

第84回 日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会を終えて

第84回 日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会は、去る2025年8月31日に水戸市の茨城県メディカルセンター・茨城県医師会館において、多くの皆様のご支援とご協力のもと、盛会裡に終了することができました。猛暑のなかご参加いただいた会員の先生方、司会演者の方々、また企画運営からご指導をいただきました小田丈二支部長、プログラム委員の方々、関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

齋藤洋子先生の特別講演、濱島ちさと先生、佐藤俊輔先生の教育講演をはじめ、主題演題（「胃X線・内視鏡検診の課題と展望」、「大腸がん検診精密検査の現状と課題」、「腹部超音波検診判定マニュアルのアップデートに向けた問題点の抽出」）・一般演題や胃X線撮影法ガイドライン関連のエキスパートレクチャー、合同症例検討会、ライブデモ、ベストイメージングコンテスト、大腸がん検診関連の保健衛生に至るまで、いずれも活発な討論が行われ、本地方会の特色である多職種連携の意義を改めて実感する機会となりました。医師、放射線技師、臨床検査技師、保健師の皆様を含む幅広い職種の参加により、消化器がん検診の課題と今後の展望について広い角度から議論していただいたことは大変意義深く、今後の消化器がん検診体制の発展に繋がるものと確信しております。

今回得られた知見と交流が、日常診療や検診の現場において活かされ、消化器がん検診のさらなる検診体制の充実に寄与することを期待しております。次回以降も本地方会が、各職種の垣根を越えて自由に議論できる場として発展し続けることを願っています。

2025年9月吉日

第84回 日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会会长
東京医科大学茨城医療センター消化器内科教授・内視鏡センター長
岩本 淳一



第16回 ザ・ベスト・イメージング・コンテスト結果報告

「第16回 ザ・ベスト・イメージング・コンテスト」は第84回 日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会(東京医科大学茨城医療センター岩本淳一学会長)において開催いたしました。岩本淳一先生はじめ茨城県放射線技師会超音波研究会の皆様など地元の方々のご協力により、過去最高だった昨年度より多い45症例の応募をいただきました。これまで応募のなかった施設や関東甲信越以外の施設からも応募をいただき盛会裏に終了することができました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

今回も1週間前から応募画像を地方会ホームページ上に公開し、事前にWeb投票を行いました。Web投票もだいぶ知られてきたようで、投票開始日から多くの投票があり、当日投票と合わせて137名の投票をいただき最優秀賞1点、優秀賞1点、特別賞1点のベスト画像を決定しましたので、ご報告いたします。

今回は病変部位の画像をただ単に描出するだけではなく、病変の特徴を一枚の同一断面に描出してわかりやすい画像を提供しようと体位変換を行ったり、プローブを変えたり、装置の条件を変えたりと、検査担当者の努力がコメントからも感じられる写真が多くみられました。そして今回の最優秀賞のようにあえてスペックの高い装置じゃなくても、装置の条件を的確に設定し努力すればここまで描出できるのだという姿勢が高く評価され、多くの票が集まったものと思われます。

また、動画での記録も各施設定着してきているよう、動画で見ていただきたいと動画での応募を希望する方も近年みられるようになりました。この件に関しましては今後検討していきたいと思います。

そして今回も研修中の方から正常例の応募もあり、若い人たちの努力にもこのコンテストが利用されていることをうれしく思いました。

どの症例も装置の条件を的確に使用した判りやすいきれいな画像でしたが、投票結果は最優秀賞が40票あまりと優秀賞の倍近い得票数がありました。その他の得票数は分散しその差はわずかなものでした。

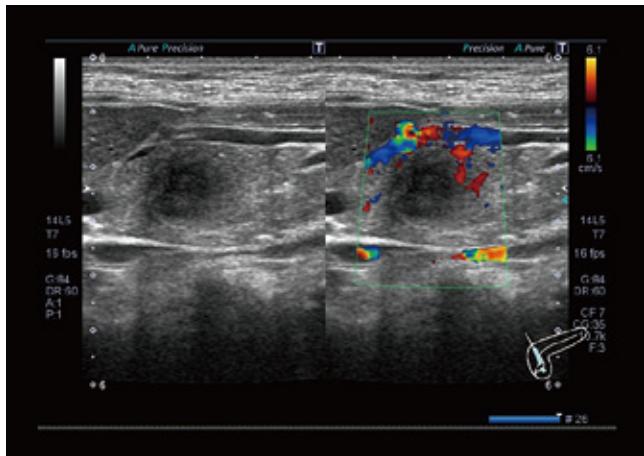
以下に入賞症例3点と得票数の高かった症例を紹介させていただきます。

応募して頂きました皆様および投票に参加して頂きました皆様ありがとうございました。御礼申し上げます。次回も多数のご応募よろしくお願い致します。

井上胃腸内科クリニック 中村 稔
早期胃癌健診協会 山本 美穂



【最優秀賞】



術者：片山 和弥

所属：KKR九段坂病院 放射線科

装置：Canon Xario 200

周波数：3.8MHz

患者：20歳代 女性

診断名：SPN(充実性偽乳頭状腫瘍)

コメント(術者の一言)

あえてスペックの低い機器で記録しました。条件設定しだいで、ここまで綺麗に腫瘍内部の充実部分と囊胞状の混在が描出出来ました!

【優秀賞】



術者：志村 聰子

所属：山王健診センター

装置：Canon Aplio i600

周波数：3.75MHz

患者：60歳代 男性

診断名：腎癌(腎孟腎癌)

コメント(術者の一言)

多数の隔壁を意識し記録しました。特に厚くなっている部分にフォーカスをあてました。無エコー部分と充実部分のコントラストを描出するのに苦慮しました。

【特別賞】



術者：大澤 理恵

所属：日本大学病院

装置：GE HealthCare LOGIQ E10

周波数：6.5MHz

患者：80歳代 男性

診断名：肝門部領域胆管癌

コメント(術者の一言)

肝内胆管の泣き別れを綺麗に描出できました。

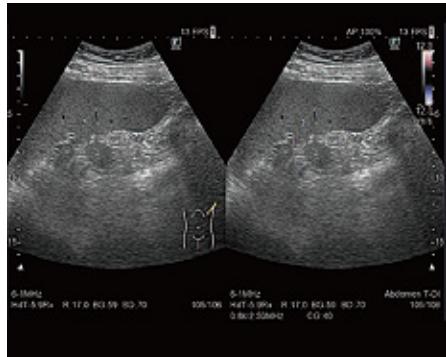
【高得票症例】



胆囊癌（肝直接浸潤）



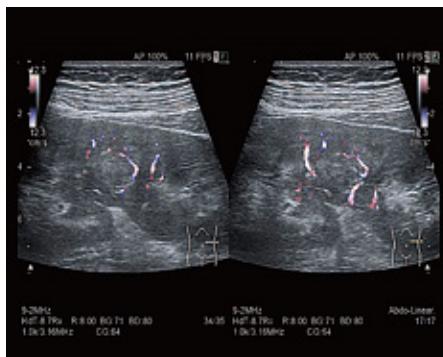
肝囊胞内出血



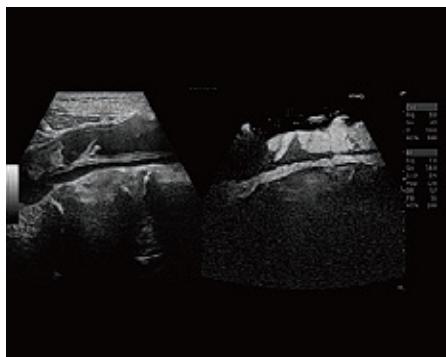
脾内副脾



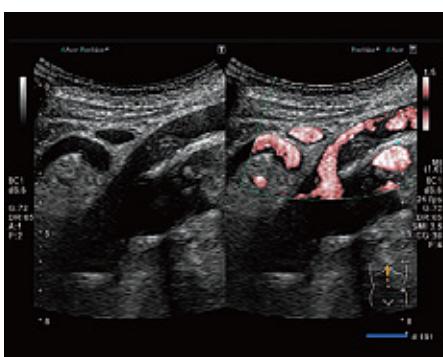
下大静脈腫瘍塞栓右房進展



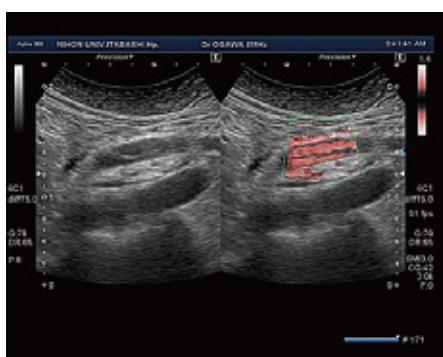
腎細胞がん



腹部大動脈解離



上腸間膜動脈起始部狭窄



上腸間膜動脈解離

第85回 日本消化器がん検診学会 関東甲信越支部地方会のお知らせ

大会テーマ：消化器がん検診の未来～地域と共に進む・変わる予防医療～

会長：眞下 由美(埼玉医科大学国際医療センター 地域医療科・消化器内科教授)

会期：2026年9月27日(日)

会場：ウェスタ川越

埼玉県川越市新宿町1-17-17

第85回 日本消化器がん検診学会 関東甲信越支部地方会

消化器がん検診の未来

～地域と共に進む・変わる予防医療～

2026年9月27日(日) ウェスタ川越

会長 真下 由美

〒350-1124 埼玉県川越市新宿町1-17-17

埼玉医科大学国際医療センター
地域医療科・消化器内科 教授



日本消化器がん検診学会関東甲信越支部 超音波研修委員会

第28回 初心者のための腹部超音波実技講習会

会期：令和8年2月14日(土) 9:00～16:30

会場：キヤノンメディカルシステムズ株式会社首都圏支社 会議室

住所：東京都中央区佃2-1-6 リバーシティ M-SQUARE 8階

募集人数：20名程度(予定)

講師：岡庭 信司 先生

実技講師：超音波検査士

*小人数グループ制(4名以下予定)で、実際にプローブを握り技術を習得していただきます。

*初心者の方はもちろん、経験者でもう一度基礎から学びたい方、新人教育の参考にしたい方も大歓迎です。

令和8年度 第26回 超音波セミナー

開催日時：令和8年4月11日(土) 13:00～16:30(予定)

会場：東医健保会館大ホール

*このセミナーは社団法人日本超音波医学会認定「超音波検査士」の資格更新指定の対象になっており、出席5単位が付与されます。



開催案内

第18回 超音波セミナー in 新潟

実行委員長 関根 厚雄(新潟県労働衛生医学協会)

日 時：2026年3月22日(日) 9:00～17:00 (受付開始 8:30)

会 場：朱鷺メッセ 中会議室(201)2階・小会議室3階

〒950-0078 新潟市中央区万代島6番1号 TEL.025-246-8400

参加費：セミナー：会員(日本消化器がん検診学会)2,500円 (非会員)3,500円

ライブデモ・セミナー：会員(日本消化器がん検診学会)5,000円 (非会員)6,000円

ハンズオン・セミナー：会員(日本消化器がん検診学会)5,500円 (非会員)6,500円

プログラム

9:00～12:00 ハンズオン(初級者対象) 会場：小会議室 3階 305・306・307
「腹部」「乳腺」「頸動脈」

9:30～11:30 ライブデモ(中級者対象) 会場：中会議室 2階 201
「脾臓・胆道」 講師：岡庭 信司 先生(飯田市立病院 消化器内科)
「肝臓・腎臓」 講師：松本 直樹 先生(日本大学病院 消化器内科)

11:30～12:10 症例検討(予定)

12:10～13:10 休憩

13:10 実行委員長挨拶 関根 厚雄(新潟県労働衛生医学協会)

13:15～14:15 「肝臓・脾臓を主とした病理とエコー像の対比(仮)」
市原 真 先生(JA北海道厚生連札幌厚生病院 病理診断科)

14:25～15:25 「肝臓(仮)」
松本 直樹 先生(日本大学病院 消化器内科)

15:35～16:35 「脾臓(仮)」
岡庭 信司 先生(飯田市立病院 消化器内科)

16:35 閉会の辞

17:30 情報交換会 会場：未定 会費：未定

*超音波検査士資格更新指定(出席5単位)出席単位は午後の講演に参加することにより付与となります。

新潟県臨床検査技師会生涯教育認定(専門教科10点)

主 催：超音波セミナー in 新潟 実行委員会 共 催：日本消化器がん検診学会

後 援：新潟県臨床検査技師会

事務局：新潟県労働衛生医学協会プラーカ健康増進センター 小笠原 斎藤

〒950-0917 新潟市中央区天神1-1 プラーカ3 5F

TEL.025-247-4101 FAX.025-245-4104 メール:niisemi16@niwell.or.jp

申込期間・参加費支払い方法については後日ホームページをご覧ください。

超音波スクリーニング研修講演会2025東京のお知らせ

※超音波スクリーニング研修講演会2025東京を下記のとおり開催いたします。

※参加登録は、会場開催参加 又は Web開催参加(オンデマンド配信)の何れかでお申し込みください。

※本研修会は、日本超音波医学会認定の超音波検査士資格更新5単位が取得できます。

※参加登録の詳細は、当法人ホームページでご確認ください。

■会場開催

期 日：令和7年12月20日(土) 10時15分～16時30分

*開場および受付開始は9時40分です。

会 場：浜離宮朝日ホール(小ホール) 東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞社新館2F

募 集 定 員：250名(先着順) 定員になり次第会場参加の申込みは終了とさせていただきます。

参 加 費：4,000円《不課税》オンデマンド配信も付きます。

■Web開催

配 信 方 法：オンデマンド配信で行います。12月20日(土)のライブ配信(生配信)は実施しません。

配 信 期 間：令和8年1月5日(月)から2月28日(土)まで

配 信 動 画：テーマ講演3演題／共催ライブセミナー2演題

共催オンデマンド配信セミナー2演題

参 加 費：4,000円《不課税》募集の人数制限はありません。

■参加登録方法：事前登録をお願いいたします。

支払はクレジットカード決済または銀行振込です。

■申込期間：令和7年10月1日(水)から令和8年1月31日(土)まで

■申込方法：参加登録サイト URL:<https://form.m-event.jp/form/57/us-screening-2025>

NPO法人ホームページ URL:<https://us-screening.org/>

NPO法人HP
QRコード

参加登録
QRコード

■主 催：特定非営利活動法人 超音波スクリーニングネットワーク

■共 催：日本消化器がん検診学会／日本総合健診医学会

■問合せ先：研修講演会事務局(中村 稔) E-mail: office@us-screening.org

超音波スクリーニング研修講演会 2025 東京

USスクリーニング …注意すべき超音波画像所見…

会場参加、Web参加のどちらか一方をお申し込みください

会場参加

令和7年

12月20日(土)

10:15~16:30 開場9:40

浜離宮朝日ホール(小ホール)

東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞社新館2F

定員：250名(先着順)

ライブ配信なし オンデマンド視聴可能

Web参加

(オンデマンド配信)

令和8年

1月5日(月)~2月28日(土)まで

配信動画

テーマ講演 3演題

共催ライブセミナー 2演題

共催オンデマンド 2演題

(オンデマンド配信のみ)

参加費

4,000円(不課税)

クレジットカード決済・銀行振込でお願いいたします。

申込期間

令和7年10月1日(水)から 令和8年1月31日(土)

申込方法

参加登録サイト または、超音波スクリーニングネットワーク
ホームページからお申し込みください
(次頁にQRコードがあります)

会場参加・Web参加とも、超音波検査士更新5単位が付与されます。

主催

特定非営利活動法人 超音波スクリーニングネットワーク

事務局 〒158-8531 東京都世田谷区上用賀6-25-1

公立学校共済組合 関東中央病院 超音波室

問合せ先(担当 中村) E-mail:office@us-screening.org

超音波スクリーニング研修講演会 2025 東京

テーマ：US スクリーニング…注意すべき超音波画像所見…

10：20 ～11：20	共催ライブ セミナー1	演題：無駄のないスクリーニング検査を極める！注目すべきテクニック 講師：小川 真広（日本大学医学部 内科学系消化器肝臓内科学分野） 座長：金久保 雄樹（医療法人 寛正会 水海道さくら病院）
11：35 ～12：35	テーマ講演 1	演題：胆嚢・胆管 講師：岡庭 信司（飯田市立病院 消化器内科） 座長：古賀 祥子（公立学校共済組合 関東中央病院）
13：00 ～14：00	共催ライブ セミナー2	演題：膵の徹底的な描出法の工夫…もれなく膵をみるための 10 の走査法… 講師：水口 安則（国立病院機構 東京医療センター 臨床検査科） 座長：丸山 勝（東京通信病院）
14：15 ～15：15	テーマ講演 2	演題：腎臓・膀胱 講師：森 秀明（杏林大学医学部 医学教育学） 座長：石井 優香（大和市立病院）
15：30 ～16：30	テーマ講演 3	演題：肝臓 講師：松本 直樹（日本大学医学部 内科学系消化器肝臓内科学分野） 座長：村松 純（関東IT ソフトウェア健康保険組合 大久保健診センター）

※ 共催ライブセミナー2でお弁当をお配りいたします。

共催オンデマンド配信セミナー

共催：GE ヘルスケア・ジャパン株式会社

演題：腹部エコー道場：腹部スクリーニングの精度向上へ

講師：丸山 憲一（東邦大学医療センター大森病院）

共催：キヤノンメディカルシステムズ株式会社

演題：注意すべき脂肪肝～脂肪肝の話題から ATI まで～

講師：金子 真大（一般財団法人日本予防医学協会）

主 催：特定非営利活動法人 超音波スクリーニングネットワーク

共 催：日本消化器がん検診学会／日本総合健診医学会

後 援：日本超音波検査学会／全国労働衛生団体連合会／超音波検査法フォーラム／東京超音波研究会

日本臨床衛生検査技師会／東京都臨床検査技師会／神奈川県臨床検査技師会

日本診療放射線技師会／東京都診療放射線技師会／神奈川県放射線技師会

参加登録サイト

URL : <https://form.m-event.jp/form/57/us-screening-2025>



特定非営利活動法人 超音波スクリーニングネットワーク ホームページ

URL : <https://us-screening.org>



※ 参加登録は、ホームページからもお申し込みいただけます。

保健衛生研修委員会を報告

第84回 日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会

保健衛生研修委員会 がん検診従事者意見交換会(研修会)を終えて

都立多摩南部地域病院 丹羽 咲弓

第84回日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会にて保健衛生部門研修会を開催させていただきました。開催に際しては会長の岩本淳一先生を始め、水戸市医師会並びに茨城県疾病対策課、他多くの方のお力添えをいただきました。心より御礼申し上げます。当日は、行政や健診機関などから47名の参加者があり、参加者の職種は保健師、看護師、医師、事務職、診療放射線技師など多岐に渡りました。今回の研修会テーマは『大腸がん検診精密検査受診率向上を目指して～今できる看護職の役割～』とし、看護職の視点から精検受診率向上のために出来ることを考えていきましたが、それと同時に多職種による取り組みの大切さを改めて実感する研修会であったと思います。

研修会では、地方会開催地である茨城県内の先生方にご講演いただき、会場内で意見交換を行いました。ご講演内容と参加者の声をご紹介いたします。

1. 講演内容

- (1) 茨城県メディカルセンターの齋藤洋子先生から『茨城県大腸がん検診の現状と課題～県としての取り組み～』と題し、茨城県のがん検診対策の概要、茨城県内44市町村の状況をご講演いただきました。44市町村を検診方法/カットオフ値別に分類し、要精検率・精密検査受診率における現状をデータ分析し、カットオフ値の統一の必要性について言及されました。また、水戸市では医師会の協力のもと、要精検者へリーフレット同封、精検結果報告書の持参及び回収を徹底した結果、精検受診率が10ポイント近く改善した事例を紹介いただきました。
- (2) 水戸市医師会の石田理先生から『水戸市大腸がん検診～精密検査受診率向上策の取り組み～』と題し、便潜血検査陽性者に対するナースナビゲーション(看護師による情報提供、医療機関予約調整支援、大腸がん検診で陽性となる原因説明など)の効果を検証した研究についてご講演いただきました。要精検者へ看護師が早期に直接アプローチすることで精密検査受診率は88.0%と非常に高い結果であったという報告でした。実際に検診現場で活用するにはマンパワー確保が課題になるだろうとの意見もありましたが、精密検査受診率向上のために看護職の介入や医療機関との連携をうまく取り入れることが期待されます。

(3) 筑波メディカルセンターつくば総合健診センターの光畠桂子先生から『大腸がん検診の精密検査受診率向上のための工夫』と題し、同センターにおける保健師が担う役割についてご講演いただきました。ドック受診者に対し健診当日に保健指導を行い、保健師による診療情報提供書作成や徹底した追跡調査を行っています。これらを電子カルテの二次システムとして電子化し運用している様子を具体的に示され、健診施設で働く保健師として大変参考になった方多かったです。

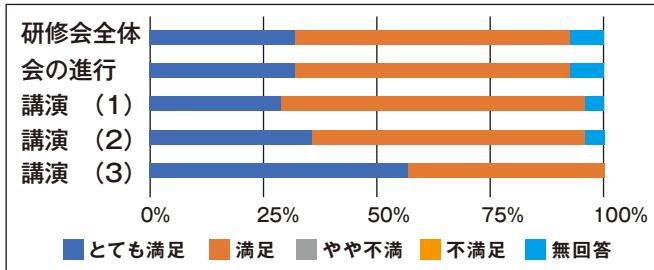
2. 参加者の内訳

職種別 内訳	職種	人 数
	保健師	15
	看護師	11
	医師	8
	事務職	2
	診療放射線技師	1
	その他	8
	不明	2
	合 計	47

所属区分	所 属	人 数
	行政	31
	検診機関	7
	医療機関	2
	企業	4
	不明	3
	合 計	47

3. アンケート結果(n=28、回収率59.6%)

(1) 参加者の満足度



(2) 印象に残ったこと・自由意見

- ・大腸がん検診のカットオフ値が市町村により違うのでデータ集計が大変だったかと思いましたがとてもわかりやすいものでした。
- ・カットオフ値に関する検討に関して今後のデータ集計ガイドライン変更等に注視していきたいと思いました。
- ・ナースナビゲーションによって精密検査受診率が向上する。多職種でのアプローチが重要であるということが印象に残りました。
- ・筑波メディカルセンターの連携係の取り組みが素晴らしいと思いました。
- ・保健師による紹介状作成が目からうろこだった。医師との連携がとれているからこそですね。
- ・多職種がそれぞれ熱心に検診に取り組んでいることが分かりました。

4. 今後に向けて

私たち保健衛生研修委員会では、地方会開催県の皆様と連携や親睦を深める契機になるよう毎年地方会に於いて研修会を企画しております。今後も地域のがん検診従事者と積極的に繋がっていき、ひとりでも多くの方ががん検診や当学会の活動に関心を持ち、がん検診の充実に繋がればと考えております。マンパワー不足の保健衛生研修委員会ではございますが、検診において大切な多職種連携の要となれるよう努力してまいります。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

第19回 千葉県消化管画像づくり研究会ご案内

会期：2026年3月28日（土）午後
 会場：ちば県民保健予防財団総合健診センター講堂
 〒261-0002 千葉市美浜区新港32-14
 TEL 043-246-8664

前処置から画像診断支援まで

人々のすこやかな毎日を願い、より適確でより安心な診断ができる信頼ある製品づくりを。

薬価基準収載

処方箋医薬品 注意-医師等の処方箋により使用すること

【硫酸バリウム製剤】

■大腸CT用経口造影剤
コロンフォート 内用懸濁液25%

■上部消化管X線造影剤

バリテスター A240粒

硫酸バリウム散99.5%「FSK」

【炭酸水素ナトリウム・酒石酸配合剤】

■X線診断二重造影用発泡剤

バリエース 発泡顆粒

■胃内有泡性粘液除去剤

ジメチコン内用液2%「FSK」

(ジメチコン内用液)

■消化管X線造影剤

バリトゲン® HD

バリトゲン® デラックス

■注腸用X線造影剤

エヌマスター® 注腸散

取扱い商品

■大腸・CT用検査食

FG-two☆

味とボリュームにこだわった、簡単調理の検査食。

■清涼飲料水

PROJECT F.

難消化性デキストリン(食物繊維として)入り。

■医療用潤滑剤

FG Jelly

消臭成分と抗菌成分をダブル配合。
刺激性の少ない透明タイプの水溶性潤滑ゼリー。

遠隔画像診断支援サービス

 **G.I.Lab 株式会社**

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-1
 KIMURA BUILDING 7F TEL : 03-5283-0981

検診に特化。

胃X線を始め、胸部X線、マンモグラフィー、CT・MRI、大腸CTなど、多様な画像をお取り扱いします。

 **伏見製薬株式会社**

仙台営業所／TEL 022-295-5667 東京営業所／TEL 03-5328-7801

名古屋営業所／TEL 052-732-8555 大阪営業所／TEL 06-6160-2431

中四国営業所／TEL 0877-22-7284 福岡営業所／TEL 092-413-4107

KAIGEN

薬価基準収載

処方箋医薬品 X線造影剤 〈硫酸バリウム製剤〉

«パウダー製剤»

硫酸バリウム散 99.1%「共成」

バリトップHD

バリトップP

バリブライトLV

バリブライトCL

バリブライトP

バリコンクMX

ネオバルギンEHD

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については、電子添文をご参照ください。

※注意 — 医師等の処方箋により使用すること

[資料請求先] **カイゲンファーマ株式会社**

大阪市中央区道修町二丁目5番14号

<https://kaigen-pharma.co.jp>

BAL-A06-02

編集後記

今号はまず、放射線研修委員会新委員長の仲村明恒先生にごあいさついただきました。また、第52回放射線委員会学術集会のご案内をいただきました。

第84回日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会を終えてのご挨拶を岩本淳一先生に述べていただきました。教育講演、主題、症例検討会、ザ・ベスト・イメージング・コンテストと伝統的な企画が予定通り行われました。

第85回日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会は埼玉で開催予定です。

超音波研修委員会の、第28回初心者のための腹部超音波検査実技講習会、第18回超音波セミナー in 新潟、令和8年度第26回セミナーの日程が決まり、ご案内をいただきました。従来通りの現地開催予定とのことです。

超音波スクリーニング研修講演会2025東京のご案内が届いています。会場参加とインターネットオンラインマンド視聴が可能なハイブリッド開催です。

千葉県画像づくり研究会も、第19回が現地開催されます。

胃がんの年齢調整死亡率が大分下がってきました。大腸がん、膵臓がん対策をもっと進めていきたいと皆さんも思っていらっしゃることでしょう。引き続き安全安心な検診をこころがけて、がん検診の普及に取り組んでいきましょう。

公益財団法人ちば県民保健予防財団

総合健診センター

山口 和也

■編集委員会■

編集委員長 山口 和也

編集委員 依光 展和 岡田 義和

神宮司 広明 山本 美穂

石井 崇雄 渡邊 綾子



(非売品)